

第35期 メンバー募集のご案内

2019年5月21日スタート

# 特許戦略スタッフ会議

—知財スタッフの相互啓発・異業種交流・人的ネットワーク形成の場—

## ■ 開催にあたって ■

特許戦略スタッフ会議は、知財スタッフの相互啓発と異業種交流を目的として1985年に創設され、今日まで参加メンバーによる活発な研究と議論を積み重ねてまいりました。

34年に及ぶ活動が実証するように本会議は、メンバーシップを基本として互いに学び合い、知財マネジメントのあるべき姿を探求する場でございます。

異業種間による情報交換や人的ネットワークの形成、さらには課題究明の絶好の機会として、皆様の本会議へのご参加をご期待申し上げる次第です。

※入会ご検討中の方は第1回例会に限り体験参加頂けます（要事前予約）

## 第1回例会（基調講演・オリエンテーション・懇親会）

**基調講演** 『ブリヂストンにおける知的財産戦略と活動  
～グループ・グローバルでの知財マネジメントの実際～』  
株式会社 ブリヂストン  
知的財産本部 本部長 **荒木 充 氏**



**日時** 2019年5月21日(火) 13:30～18:30

**会場** 「アイビーホール」(東京・表参道)

## 第2回例会（ゲスト講演とグループディスカッション）

**ゲスト講演** 『シスメックスの知的財産活動  
～凡事徹底、あたりまえのことをあたりまえに～』  
シスメックス 株式会社  
理事 知的財産本部長 **井上二三夫 氏**



**日時** 2019年6月11日(火) 13:30～17:00

**会場** 「アイビーホール」(東京・表参道)

## 第3回例会（合宿研究会）

**テーマ** 『メンバー各社の知財マネジメントの現状と課題』  
\*各自で作成する「メンバー交流シート」に基づいた事例と知見の交流

**日時** 2019年7月5日(金)～6日(土)

**会場** 静岡県浜松市方面での合宿研修を予定

## 第4回例会（ゲスト講演とグループディスカッション）

**テーマ** 『テクノロジカル・シンギュラリティ  
～知財スタッフがおさえておきたい技術変革～』  
慶応義塾大学大学院 訪問教授／筑波大学大学院 客員教授／  
東京大学大学院 非常勤講師 **牧野 司 氏**



**日時** 2019年8月27日(火) 13:30～17:00

**会場** 「アイビーホール」(東京・表参道)

## 参加対象

- 知財マネジメントについて明確な問題意識を持ち、積極的な意見交流を希望される方々
- 事業会社で知的財産、R&D部門を中心に知財マネジメントに携わる方々

\*コンサルティング、特許事務所関係の方々のご参加はご遠慮いただいております。

## 開催要領

- ▶ **期間** 2019年5月～2020年3月（全11会合）
- ▶ **日時** 原則として、「年間プログラム」の開催日程に沿って開催<13:30～17:00>
- ▶ **会場** 東京都内会議室  
\*運営上の都合により、日時を変更する場合がございます。  
\*例会の詳細は、事前にEメールにてご案内いたします。  
\*合宿研究会や見学会、現地交流会などは、詳細が決定次第、ご案内いたします。

- ▶ **運営体制** 本会議の企画・運営にご参画いただきます（順不同・敬称略）

### 運営幹事

齊藤 将康氏 日立化成(株) 知的財産戦略センタ IP開発戦略部 部長代理  
齋藤 匡史氏 ダイキン工業(株) 法務・コンプライアンス・知財センター 知的財産グループ  
中島健一朗氏 昭和電工(株) 知的財産部 知的財産グループ技術2チーム  
伏見 美昭氏 (株)小糸製作所 知的財産部 知的財産グループ 主管補  
宮川 敦史氏 (株)村田製作所 知的財産部法務渉外課マネージャー

ほか数氏ご依頼中

### アドバイザー

大田 恭義氏 ミダスIPパートナーズ 代表（元富士フイルム(株) R&D統括本部メディカルシステム開発センター兼、知的財産本部知財技術部）

## 特許戦略スタッフ会議の特長と方針

### 特長

1. 異業種交流を深めることにより、業種・業態の壁を超えた新しい発想や手法を学ぶことができ、なおかつ社外のネットワークを広げ、**パーソナルバリュー**の向上が図れます。
2. 知財マネジメントの新しい流れや考え方、実践方法について、外部ゲストやメンバーによる事例研究で**最新の情報**を収集できます。
3. 情報交換だけでなく、その背景にある実務に直結した**ノウハウの交換**が行えます。また、必要に応じて**メンバーの相互訪問**も行えます。

### 基本方針

\*会合の参加に際してのお願い

1. 会議の目的達成のため、可能な限りギブアンドテイクをモットーに参画する。
2. 本音ベースの議論を深めるため、互いの守秘義務を遵守する。
3. 企業規模、役職、経験に関係なく積極的に参加する。

### 異業種研究交流の価値

本会議は、知財マネジメントに関する異業種研究交流の場です。異業種研究交流には、次の2つのメリットがあります。

1. 物事を客観的に見られるようになる
2. 付き合いの幅が広く大きくなっていく

これら2つのメリットを踏まえながら、メンバー間の交流を通じて是非”**感性のアンテナ**”を磨いて下さい。

# 年間プログラム

日程	研究テーマ／講演・討議内容
第1回 5/21(火)	<b>基調講演</b> 『ブリヂストンにおける知的財産戦略と活動 ～グループ・グローバルでの知財マネジメントの実際～』 <small>(株)ブリヂストン 知的財産本部 本部長 荒木 充 氏</small>
第2回 6/11(火)	<b>基調講演</b> 『シスメックスの知的財産活動 ～凡事徹底、あたりまえのことをあたりまえに～』 <small>シスメックス(株) 理事 知的財産本部長 井上二三夫 氏</small>
第3回 7/5-6(金・土)	<b>第1回合宿研究会</b> 『メンバー各社の知財マネジメントの現状と課題』 <small>・「メンバー交流シート」の活用により、参加メンバー間の交流を深める。          ・メンバー各社の置かれている状況、問題意識について意見交流。</small>
第4回 8/27(火)	(10:30～12:30 開催) <b>チュートリアルコース</b> 『知財で事業に勝つ～知財業務をルーティン業務にはしてはいけない～』 <small>ミダスIPパートナーズ 代表 大田 恭義 氏 (当会議アドバイザー)</small> (13:30～15:00 開催) <b>ゲスト講演</b> 『テクノロジカル・シンギュラリティ』 <small>～知財スタッフがおさえておきたい技術変革～</small> <small>慶応義塾大学大学院 訪問教授／筑波大学大学院 客員教授／東京大学大学院 非常勤講師 牧野 司 氏</small>
第5回 9/10(火)	<b>以降のプログラムについて</b> <small>今期の参加メンバーの皆さまの問題意識に基づき、プログラムを進めてまいります。</small> <b>通常例会</b> 通常例会は下記の構成で進めてまいります (時間配分は目安です)。
第6回 10/8(火)	13:30.....➡ 15:00 .....➡17:00 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <b>ゲスト講演・メンバー発表</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的課題の認識</li> <li>・知財マネジメントのケーススタディ</li> <li>・知財マネジメントの課題共有</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <b>グループディスカッション・分科会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実務家同士の本音の情報交換</li> <li>・参加企業相互の事例交換</li> <li>・他では聞けない現場の知識の共有、など</li> </ul> </div> </div>
第7回 11/12(火)	<b>合宿研究会</b> <small>異業種各社の知財スタッフが抱える問題や課題について相互に学び合い、知的交流を深めます。          一泊二日にわたる合宿は、人的ネットワーク構築の好機です。</small>
第8回 12/3(火)	<b>第1回合宿研究会 (7月)</b> メンバー各社の知財マネジメントの現状と課題 <b>第2回合宿研究会 (2月)</b> 事業所見学会、テーマ別分科会による集中討議など <b>分科会活動(8月または9月～3月／全7～8回)</b>
第9回 1/7(火)	<small>企業経営や知財マネジメントを取り巻く今日的課題を踏まえながらテーマを抽出し、固定メンバーで継続的に議論いたします。          分科会活動では中間進捗報告会や最後の活動報告会を実施して、問題意識と研究討議の成果を全体会議で共有いたします。</small>
第10回 2月中下旬予定 (合宿研究会)	<b>本会議の活用について</b> <small>本会議は、各社における知財マネジメントのあるべき姿を探求する場です。それぞれの課題を解決する場として大いにご活用ください。</small>
第11回 3/10(火)	<b>★ご参加頂くと、こんなときに役立ちます★</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の知財活動の課題や懸案事項についてヒントを得たいとき・・・          →各社の事例から知財活動に関するノウハウや知見が得られます。</li> <li>・知財活動について相談ごとやアドバイスが欲しいとき・・・          →メンバーと交流することで解決の糸口が見つけられます。</li> </ul>

## 研究テーマ《個別テーマ（例示）》

\*下記の個別テーマは、これまでの分科会活動の内容をベースにしています。

### 1. 知財を通じた「事業」への貢献

- ◆知財部門の貢献とは  
—貢献の見える化、貢献のための連携、成功事例と失敗事例
- ◆事業継続拡大のための活動  
—権利活用の成功事例と失敗事例、活用での技術資産の整理法
- ◆特許出願の必要性
- ◆事業基盤整備のための知財活動

### 2. 知財を通じた「R&D」への貢献

- ◆知財に求められる役割と情報の確認
- ◆知財分析による商品&開発戦略提案
- ◆知財ポートフォリオから導く出願戦略&活用戦略
- ◆標準化対応
- ◆ケーススタディ  
—調査（情報の入手）、分析（提案に結びつける）、提案（分析を情報発信）

### 個別テーマ（例示）

### 3. グローバル

- ◆海外拠点、海外子会社の知財管理のあり方  
—知財ガバナンス、分散帰属型、一元帰属型
- ◆海外代理人の選定方法  
—選定基準、コミュニケーション、評価、役割、活用
- ◆グローバル展開時の体制・人材  
—知財体制の整備、機能・役割分担、海外駐在、人材育成
- ◆海外特許網構築と活用  
—調査・分析、出願戦略、権利化・活用

### 4. IoT、インダストリ4.0、ビジネスエコシステムと知財活動

- ◆インテリジェンス機能の向上のために  
—必要とされる知財情報の収集・活用と情報発信  
—AIの台頭による知財活動の変化
- ◆企業競争力を高める技術標準化に必要なこと  
—弱みを解消し、強みを増すために
- ◆事業領域・事業構造の変化と知財戦略  
—法的リスクと知財課題  
—事業連携、俯瞰的・戦略的に活動できる能力の養成

## 前期（第34期）分科会テーマと主な討議項目

下記の4つの関心テーマ別にグループを編成し、複数回にわたり集中的に議論しました。  
異業種各社の知財スタッフが各々の知見を持ち寄り、自己課題解決の考え方、コンセプト、具体的対応策を研究討議致しました。

### ・「ヒト・体制・カネ」の観点からグローバル知財のあるべき姿を検討する（10名参加）

- 中央集権型と自律自走型のメリット、デメリット
- 自律自走型に中央集権型要素を加えるハイブリッド体制
- 『一体感と任せる』知財体制・・・など

### ・知財組織力強化と人材育成（8名参加）

- 各社における社内教育の実態 把握と強みを伸ばす教育
- 知財組織のなりたい姿・現状・課題
- コンサル型の知財活動のための人材育成・・・など

### ・新商品・新事業開発のための知財戦略構築に向けた課題解決（12名参加）

- 各自が考える先読みの時間軸
- いつ、どのように社内情報を入手し、どんな外部情報を提供するか
- 知財ならではの“刺さる”情報提供とは・・・など

### ・事業貢献・強化のための知財マネジメント（11名参加）

- 事業部門ニーズに合致した知財活動を能動的に行い信頼を勝ち取る
- インバウンド型OIのプロセスを可視化した「New N/Sモデル」提唱
- 知財部からオープンイノベーションの提案・・・など

### 会議の風景



通常例会での風景/ゲスト講演時



分科会活動時/テーマについて集中議論



## 前期（34期）活動経過

### ▶ 《研究テーマ／講演・討議内容》

ご所属・お役職はご講演当時。

1	■データ時代におけるIBMの知的財産戦略 日本アイ・ピー・エム(株) 知的財産 第1知的財産担当部長 太佐 種一 氏
2	■旭化成の知的財産活動 旭化成(株) 研究・開発本部 知的財産部長 坂元 孝至 氏
3	(合宿研究会) ■グループディスカッション ～メンバー各社における知財マネジメントの課題と対応
4	■チュートリアル講演 知財で事業に勝つ! ～出願推進で開発部門はダメになる1～ ミダスIPパートナーズ 代表 大田 恭義 氏 ■事業戦略と知財戦略～IPランドスケープの活用～ デロイトトーマツ シニアヴァイスプレジデント 小林 誠 氏
5	■味の素におけるグローバル知財管理と知財部員の人材育成 味の素(株) 理事 知的財産部長 池村 治 氏 ◆テーマ別分科会討議、第1回目
6	■グローバル知財戦略の強化ポイント～事業で勝つための知財戦略とは～ 上柳特許事務所 所長 弁理士 上柳 雅誉 氏 ◆テーマ別分科会討議、第2回目
7	■チュートリアル講演 「知財で事業に勝つ!～出願推進で開発部門はダメになる2～ ミダスIPパートナーズ 代表 大田 恭義 氏 ■R&D／事業に貢献する知財部門の役割と活動 東京工業大学 研究・産学連携本部 知的財産部門 渡辺 康彦 氏 ◆テーマ別分科会討議、第3回目
8	■分科会中間報告会 ◆テーマ別分科会討議、第4回目
9	■ダイセルにおける新たな三位一体の知財活動 (株)ダイセル 知的財産センター長補佐 百瀬 隆 氏 ◆テーマ別分科会討議、第5回目
10	(合宿研究会) ■(見学会) ヤクルト本社 福島工場の見学 ◆分科会討議、第6回目
11	(分科会活動報告会) 4つのグループから議論・研究討議の成果を報告、その成果を全体で共有。

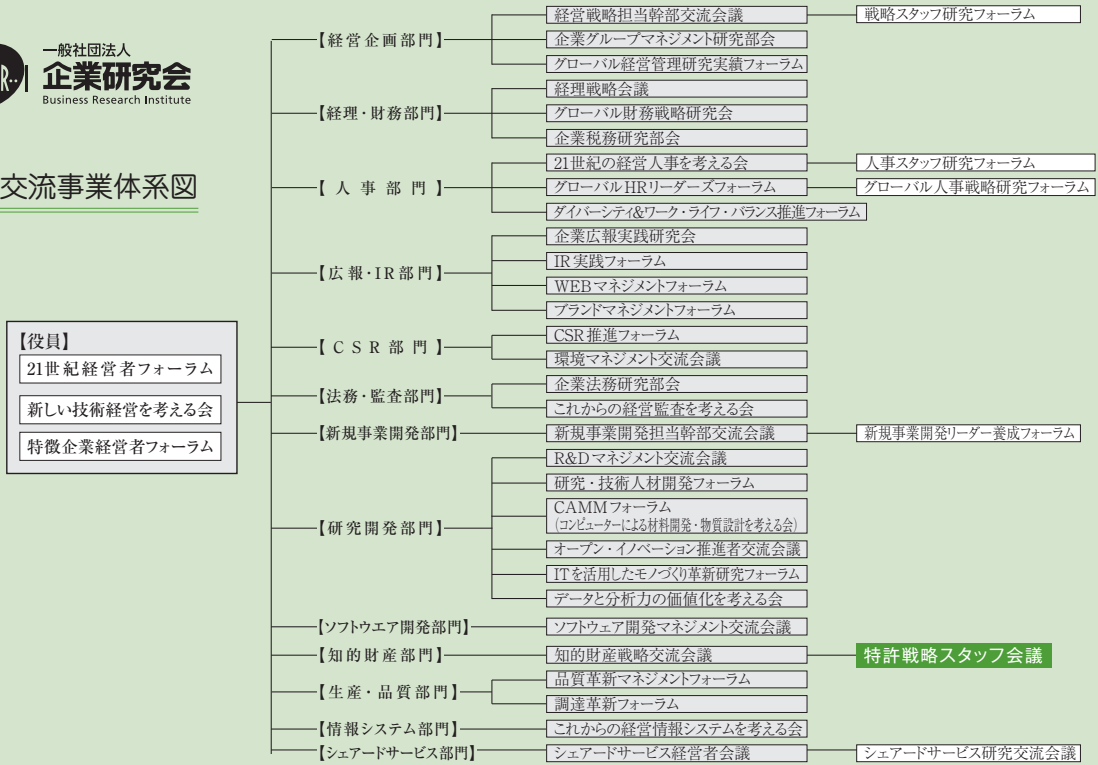
## 第34期参加企業一覧

ナブテスコ	技術本部 知的財産部 参事	ブリヂストン	知的財産本部 ユニットリーダー 課長
小糸製作所	知的財産部知的財産グループ 課長	日東電工	知的財産本部 第1事業知財戦略部
YKK	法務・知的財産部 知的財産グループ 知財企画管理リーダー	キヤノン	周辺機器知的財産第二課 課長
日立化成	知的財産戦略センタ IP開発戦略部 部長代理	サントリー ホニールディングス	知的財産部 課長代理
カネカ	知的財産部企画管理グループ 主任	カネカ	知的財産部 企画管理グループ 幹部職
昭和電工	知的財産部 知的財産グループ 情報チームリーダー	日立化成	知的財産戦略センタ IP開発戦略部 主任
パナソニック	エコソリューションズ社 知的財産部 ライティング知財課 主幹	小糸製作所	知的財産部 知的財産グループ 技師補
三井化学	知的財産部 事業知財推進第1グループ グループリーダー	昭和電工	知的財産部 知的財産グループ技術2チーム
ミダスIPパートナーズ	代表	三井化学	知的財産部 戦略・企画グループリーダー
花王	研究開発部門 知的財産部 主席部員(SN・包装容器担当)兼 課長	パナソニック	知的財産部 コト価値創出知財プロジェクト 主事
日産化学	知的財産部 主席	宇部興産	建設資材カンパニー・技術開発研究所・知的財産部 部長
日本製鋼所	新規事業推進本部 知的財産部	イビデン	技術開発本部 知的財産部グループマネージャー
KMバイオロジクス	研究開発推進部 知的財産課 専任課長	ダイキン工業	法務・コンプライアンス・知財センター 知的財産グループ
MizkanHoldings	中央研究所特許チーム 主任	リコー	知的財産開発センター 知的財産統括室 知的財産統括グループ
資生堂	技術知財部 特許2グループ	中部電力	技術開発本部 技術企画室 知財創造グループ 主任
京セラ	法務知的財産本部知的財産部 知財3部2課 責任者	東レ	知的財産部
KYB	知的財産部第一知的財産室	積水化学工業	R&Dセンター 知的財産グループ 主事
東洋インキSC ホニールディングス	知的財産部	日本電信電話	知的財産センタ 企画担当課長
グローリー	知的財産部	日本たばこ産業	知的財産部 課長代理
村田製作所	知的財産部 法務渉外課マネージャー	帝人	知的財産部 知財法務チーム長

# 一般社団法人企業研究会 研究交流事業一覧



## 研究交流事業体系図



## 第35期 特許戦略スタッフ会議 申込要領

▶ **会費** (1名分、消費税込) **正会員 248,400円** **一般 280,800円**

\*資料代・通信費等含まれます。ただし、合宿研究会他、特別会合は別途実費をご負担頂きます。  
\*分割などのお支払い等も可能です。お気軽にご相談ください。

▶ **申込方法** 必要事項をご記入の上、下記宛てファクスもしくはEメールにてお申し込みください。  
折り返し、第1回例会案内ならびに請求書を送らせていただきます。

◀体験参加について▶第1回例会(5/21)は会の雰囲気などをご覧いただくため、入会をご検討中の方もご参加頂けます(人数制限ございます)。下記申込書の体験参加の欄にチェックいただき必要事項ご記入の上、FAXにてお送りください。

▶ **申込先** 一般社団法人企業研究会 担当:小野原/福田  
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2階  
TEL: 080-1393-5593(直通)/03-5215-3511(代表) E-mail: onohara@bri.or.jp

### 申 込 書

<事業コード:190027>

## 「第35期 特許戦略スタッフ会議」申込書

年 月 日

- 会合の趣旨に賛同し、下記により参加を申し込みます。  
 参加検討中につき、第1回例会の体験参加を申し込みます。

**FAX:03-5215-0951**

氏名(ふりがな)	会社名
所属・役職名	TEL:
会社所在地 〒	FAX:
	E-Mail:

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および、当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。